



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7722 URL <http://www.kokusaikk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 進一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 博司 (TEL) 042-371-4211  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け )  
 (百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	3,388	2.0	328	45.8	349	42.2	217	33.2
2021年3月期第1四半期	3,321	76.9	225	—	245	—	163	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 358百万円( 102.9%) 2021年3月期第1四半期 176百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	15.43	—
2021年3月期第1四半期	11.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	19,148	11,342	58.4
2021年3月期	18,690	11,125	58.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 11,185百万円 2021年3月期 10,975百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	15.00	—	10.00	25.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,500	△3.6	300	31.8	300	34.8	180	39.6	12.78
通期	11,500	△0.0	700	70.0	700	23.3	420	133.6	29.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期1Q	14,200,000株	2021年3月期	14,200,000株
2022年3月期1Q	121,649株	2021年3月期	121,649株
2022年3月期1Q	14,078,351株	2021年3月期1Q	14,015,377株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

※ 当社は、以下のとおり説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・2021年8月25日（水）……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、前連結会計年度から続く新型コロナウイルス感染症の世界的拡大と、米中貿易摩擦の長期化や、中東や朝鮮半島における地政学的リスクの高まりなど世界経済の不確実性の影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

また、日本経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、企業の設備投資も弱含んだ状況が続いております。なお、当社グループが主力取引先としている中国及び東南アジアの自動車及びタイヤ業界の設備投資については、当第1四半期連結累計期間において、軟調に推移しておりますが、当社の主力顧客である中国企業の欧州や東南アジア等への海外進出が続いております。

また、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、CASEやカーボンニュートラルなどの世界的潮流への対応に注力するなか、ハイブリッド車などの低燃費エンジンや電気自動車等の環境や省エネに配慮した自動車部品に対する製造・研究開発分野への投資が続いておりますが、半導体供給不足や各種素材の価格高騰などの懸念材料もあるため、設備投資については慎重に検討されております。

このような経営環境の中で当社グループは、お客様やグループ間でオンライン会議を活用しながら、生産ライン用の試験装置であるバランスングマシンとともに、研究開発用でありイニシャルコストとランニングコストの低減が見込める電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を、国内及びアジアを中心に積極的に展開しております。この結果、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカー向けの生産ライン用タイヤ関連試験機や国内の自動車部品メーカー向けの電気サーボモータ式振動試験機等の受注を獲得いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高33億8千8百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益3億2千8百万円（前年同四半期比45.8%増）、経常利益3億4千9百万円（前年同四半期比42.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億1千7百万円（前年同四半期比33.2%増）となりました。

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う客先との納期調整や海上輸送船舶及びコンテナ不足に伴う輸出待ちは継続しており、アジアのタイヤメーカーを中心としたバランスングマシンの売上が減少したものの、国内向けの電気サーボモータ式振動試験機の売上が増加したため、前年同四半期と比較して増加しております。利益面につきましては、増収の影響により、前年同四半期と比較して増加しております。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

[日本（国際計測器株式会社）]

主に海外向けバランスングマシン及び国内向け電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が増加したため、全体として出荷・検収は増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	30億5千4百万円（前年同四半期比26.5%増）
経常利益	5億3千4百万円（前年同四半期比112.8%増）

[日本（東伸工業株式会社）]

原子力業界からのクリープ試験装置や腐食環境試験装置などの受注が増加したものの、材料試験機の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失となりました。

売上高	4千4百万円（前年同四半期比3.3%減）
経常損失	1千4百万円（前年同四半期は1千3百万円の損失）

[米国]

日系の大手自動車関連メーカーへの電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が減少し、米国の自動車部品メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失となりました。

売上高	4千5百万円（前年同四半期比87.4%減）
経常損失	6千6百万円（前年同四半期は2千万円の利益）

[韓国]

韓国大手自動車関連メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が減少したものの、電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加したものの、経常利益は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	5億9千4百万円（前年同四半期比1.8%増）
経常利益	8千4百万円（前年同四半期比21.0%減）

[中国]

中国国内の自動車部品メーカーやタイヤメーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少したものの、経常利益となりました。

売上高	7千8百万円（前年同四半期比65.4%減）
経常利益	9百万円（前年同四半期は5百万円の損失）

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、191億4千8百万円（前連結会計年度末比4億5千7百万円増）となりました。これは、海外物件の出荷に伴い商品及び製品が減少（前連結会計年度末比2億1千4百万円減）したことや、仕掛品が減少（前連結会計年度末比1億9千9百万円減）したものの、出荷が集中したことにより受取手形及び売掛金が増加（前連結会計年度末比8億6千1百万円増）したことが主たる要因であります。

(負債の部)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、78億5百万円（前連結会計年度末比2億3千9百万円増）となりました。これは、課税所得の増加により未払法人税等が増加（前連結会計年度末比6千4百万円増）したことや、運転資金拡充のため借入を実行したことにより1年内返済予定の長期借入金が増加（前連結会計年度末比1億1百万円増）したこと及び長期借入金が増加（前連結会計年度末比9千7百万円増）したことが主たる要因であります。

(純資産の部)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、113億4千2百万円（前連結会計年度末比2億1千7百万円増）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより利益剰余金が増加（前連結会計年度末比7千6百万円増）したことや、その他有価証券評価差額金が増加（前連結会計年度末比6千3百万円増）したこと及び為替換算調整勘定が増加（前連結会計年度末比7千万円増）したことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、第2四半期以降の業績については計画通りに推移すると見込まれており、2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想に変更はありません。

当社グループとしては、新型コロナウイルス感染症の収束時期を正確に予測することは困難な状況にあります。我が国を含む海外諸国の多くで経済活動再開のためにワクチンの接種が進み始めていることから、当連結会計年度中には人の移動制限が大幅に緩和されるものと想定しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,914,142	6,082,644
受取手形及び売掛金	2,678,681	3,540,255
商品及び製品	638,545	424,071
仕掛品	3,146,112	2,947,027
原材料及び貯蔵品	546,048	553,905
その他	487,140	294,146
貸倒引当金	△3,073	△2,748
流動資産合計	13,407,598	13,839,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,087,669	3,090,490
機械装置及び運搬具	221,062	223,088
土地	1,304,251	1,304,251
リース資産	3,036	3,036
その他	297,007	300,892
減価償却累計額	△1,811,620	△1,847,518
有形固定資産合計	3,101,406	3,074,240
無形固定資産		
その他	68,405	67,282
無形固定資産合計	68,405	67,282
投資その他の資産		
投資有価証券	467,122	558,668
長期貸付金	8,227	7,797
繰延税金資産	18,033	16,147
保険積立金	1,292,497	1,294,697
その他	478,712	438,832
貸倒引当金	△151,144	△148,809
投資その他の資産合計	2,113,450	2,167,333
固定資産合計	5,283,261	5,308,856
資産合計	18,690,860	19,148,159

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,405,971	2,277,026
短期借入金	1,320,000	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	370,996	472,149
未払法人税等	140,987	205,325
賞与引当金	88,783	150,210
製品保証引当金	110,686	116,453
前受金	1,463,329	1,490,778
その他	342,902	384,379
流動負債合計	6,243,657	6,396,321
固定負債		
長期借入金	789,074	886,602
繰延税金負債	144,805	139,169
役員退職慰労引当金	158,616	160,736
退職給付に係る負債	211,646	204,603
資産除去債務	17,676	17,747
固定負債合計	1,321,817	1,408,858
負債合計	7,565,474	7,805,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	8,839,976	8,916,523
自己株式	△99,523	△99,523
株主資本合計	10,699,952	10,776,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	284,905	348,399
為替換算調整勘定	△9,113	60,971
その他の包括利益累計額合計	275,792	409,370
非支配株主持分	149,640	157,109
純資産合計	11,125,385	11,342,979
負債純資産合計	18,690,860	19,148,159

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	3,321,997	3,388,829
売上原価	2,265,695	2,236,617
売上総利益	1,056,302	1,152,211
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	45,237	54,587
役員報酬	100,140	96,775
給料手当及び賞与	189,386	171,249
賞与引当金繰入額	26,164	25,621
退職給付費用	6,430	4,389
役員退職慰労引当金繰入額	2,120	2,120
運賃	72,044	142,860
減価償却費	7,758	7,648
研究開発費	9,691	13,609
その他	371,838	304,516
販売費及び一般管理費合計	830,812	823,379
営業利益	225,490	328,832
営業外収益		
受取利息及び配当金	12,804	6,645
為替差益	—	12,919
貸倒引当金戻入額	11,873	2,657
その他	5,480	2,684
営業外収益合計	30,157	24,907
営業外費用		
支払利息	1,981	2,689
売上債権売却損	209	281
支払手数料	1,053	1,061
為替差損	6,286	—
保険解約損	453	324
その他	0	0
営業外費用合計	9,985	4,356
経常利益	245,663	349,383
税金等調整前四半期純利益	245,663	349,383
法人税、住民税及び事業税	84,745	160,692
法人税等調整額	△4,127	△31,714
法人税等合計	80,617	128,978
四半期純利益	165,045	220,405
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,843	3,074
親会社株主に帰属する四半期純利益	163,202	217,331

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	165,045	220,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,261	63,493
為替換算調整勘定	△11,722	74,479
その他の包括利益合計	11,539	137,972
四半期包括利益	176,585	358,378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	186,493	350,909
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,908	7,468

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

これによる当社及び連結子会社の収益を認識する方法に変更はなく、国内販売においては主に顧客により製品が検取された時に、輸出販売においては主にインコタームズ等で定められた貿易条件に基づきリスク負担が顧客に移転した時に収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	2,319,586	46,126	362,848	381,561	201,811	3,311,934	10,063	3,321,997
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	96,127	—	—	202,110	24,739	322,978	22,379	345,358
計	2,415,713	46,126	362,848	583,672	226,551	3,634,912	32,442	3,667,355
セグメント利益 又は損失(△)	251,096	△13,588	20,023	106,890	△5,384	359,037	7,911	366,949

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	359,037
「その他」の区分の利益	7,911
セグメント間取引消去等(注)	△121,286
四半期連結損益計算書の経常利益	245,663

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が151,530千円含まれております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
バランスングマシン	2,323,721	—	5,391	265,054	9,684	2,603,851	5,784	2,609,636
電気サーボモータ式振動試験機	320,209	—	—	94,223	—	414,432	—	414,432
材料試験機	—	38,300	—	—	—	38,300	—	38,300
シャフト歪自動矯正機	49,669	—	—	5,892	—	55,561	—	55,561
その他	160,545	—	40,186	33,552	26,791	261,076	9,821	270,898
顧客との契約から生じる収益	2,854,145	38,300	45,578	398,722	36,476	3,373,223	15,606	3,388,829
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,854,145	38,300	45,578	398,722	36,476	3,373,223	15,606	3,388,829
セグメント間の内部売上高又は振替高	200,711	6,300	216	195,494	41,907	444,630	31,125	475,756
計	3,054,857	44,600	45,795	594,217	78,384	3,817,853	46,731	3,864,585
セグメント利益又は損失(△)	534,449	△14,116	△66,990	84,390	9,297	547,029	17,799	564,828

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	547,029
「その他」の区分の利益	17,799
セグメント間取引消去等(注)	△215,444
四半期連結損益計算書の経常利益	349,383

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が166,511千円含まれております。

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

区分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	2,606,811	△0.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	414,433	+37.5	日本(国際), 韓国
シャフト歪自動矯正機	55,561	△56.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	38,300	△17.0	日本(東伸)
その他	273,723	+20.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合計	3,388,828	+2.0	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

## (2) 受注状況

## ①受注高

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

区分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	1,595,482	+24.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	354,961	+39.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	117,506	+5,362.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	224,996	+333.8	日本(東伸)
その他	303,976	+41.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合計	2,596,922	+43.7	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

## ②受注残高

当第1四半期連結累計期間末(2021年6月30日)

区分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	6,029,533	△0.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	2,318,141	△19.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	361,118	△20.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	229,866	+99.0	日本(東伸)
その他	47,578	△46.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合計	8,986,239	△6.4	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

## (3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

区分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	2,609,636	△0.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	414,432	+37.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	55,561	△56.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	38,300	△17.0	日本(東伸)
その他	270,898	+18.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合計	3,388,829	+2.0	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。